



2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月13日

上場会社名 K O Z Oホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 9973 URL <https://kozohd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森下 将典
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室室長 (氏名) 毛利 謙久 TEL 03-4586-1122
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無: 無
決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第1四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	4,624	9.8	△44	—	△10	—	△34	—
2024年12月期第1四半期	4,210	87.6	△81	—	△81	—	△92	—

(注) 包括利益 2025年12月期第1四半期 △81百万円 (—%) 2024年12月期第1四半期 △91百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	△0.14	—
2024年12月期第1四半期	△0.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年12月期第1四半期	5,022	47	0.5	0.10
2024年12月期	6,000	129	1.8	0.44

(参考) 自己資本 2025年12月期第1四半期 23百万円 2024年12月期 105百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—	—	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,200	11.5	22	—	27	—	△38	—	△0.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年12月期 1 Q	239,821,340株	2024年12月期	239,821,340株
② 期末自己株式数	2025年12月期 1 Q	6,866株	2024年12月期	6,866株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年12月期 1 Q	239,814,474株	2024年12月期 1 Q	211,686,615株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、現時点における経営環境において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2025年1月1日～2025年3月31日)におけるわが国経済は、緩やかな回復基調を見せつつも、物価上昇の長期化や円安の継続により、不透明な経済環境が続いています。特に、米をはじめとする主要原材料価格の高止まりや、人件費・物流費の上昇は、当社が属する中食・外食産業全体の収益性に大きな影響を与えています。また、物価高に伴う消費者の節約志向の高まりにより、外食需要は慎重な動きが続いています。

このような状況下において、当社グループは「小売事業」「飲食事業」「流通事業」の3本柱を事業の軸として、「多様な食を、多様な形で、多様な顧客へ」という基本方針のもと、事業間のクロスオーバーによる付加価値の創出、海外市場への事業展開、新規店舗開発及び、前連結会計年度に決定致しました不採算店舗の閉鎖により各事業の収益性改善と事業効率化を推進してまいりました。

以下に、各事業の主な取組み内容と成果を記載いたします。

〔小売事業〕

中核企業である株式会社小僧寿し(以下「小僧寿し」といいます。)では、収益性が減退した店舗の撤退を進める一方で、地方圏へのドミナント出店や、スーパーマーケット・小売販売店へのインストア出店を進めています。

このように、採算性の低い店舗の撤退と並行して新たな収益店舗を開発する「リプレイス出店戦略」の推進が小売事業セグメントの業績を牽引したことから、当第1四半期の売上高は11億93百万円(前年同期比7.5%増加)、セグメント利益は10百万円(前年同期は4百万円のセグメント損失)と、黒字転換を実現しております。

〔飲食事業〕

中核企業であるアスラポート株式会社(以下「アスラポート」といいます。)では、ゴーストレストランによるデリバリー販売を縮小し、収益性及び効率重視の運営方針へと転換を図っております。一方で、メキシカン・ファストフード「TacoBell」を展開する株式会社TBJ(以下「TBJ」といいます。)では、昨年より再開した出店戦略並びにマーケティング戦略が奏功しており、前年同期と比較し増収・増益となり、黒字転換を実現しております。これらを主要因として、飲食事業セグメントにおける当第1四半期の売上高は15億3百万円(前年同期比32.5%増加)、セグメント損失は9百万円(前年同期は30百万円のセグメント損失)と、大幅な収益改善を実現しております。

〔流通事業〕

中核企業である東洋商事株式会社(以下「東洋商事」といいます。)では、食材卸売事業の強化を目的に、一般貨物自動車運送業の認可取得及び、配送体制の拡充を行い、物流インフラの整備を進めました。

株式会社デリズ(以下「デリズ」といいます。)では、フード・デリバリー業界の競争激化に伴い収益性の減退した11店舗の閉鎖を実施する一方で、新規事業として、SaaS型プラットフォーム「D e l i x (呼称:デリックス)」を核とした新サービスの提供を開始し、既に100アカウントを超える導入実績を獲得しています。

上記の取組みの結果、デリズによる不採算店の閉鎖実施及び、中核企業である東洋商事において、原材料価格の高騰の影響が収益性を圧迫したこと等により、売上高は23億8百万円(前年同期比5.9%減少)、セグメント損失は33百万円(前年同期は29百万円のセグメント損失)となりました。

〔海外事業〕

当社は2024年5月度に、北米でSUSHI BOY, INC.を展開するASRAPPORT DINING USA, INC.を連結子会社化し、また同年6月には、英国においてJapan Centre Group Limited及び、Kozosushi UKLimitedとの三者間による資本業務提携を締結することで、持分法適用会社といたしました。これにより、欧州・英国を拠点とした当社ブランドの海外展開が本格化しており、今後さらなる事業拡大と店舗数の増加を見込んでおります。

〔業績ハイライト〕

① 当第1四半期における連結業績

[項目]	[業績]	[前年同期比較]
売上高	46億24百万円	前年同期比 9.8% 増加
営業利益	△44百万円	前年同期は △81百万円
経常利益	△10百万円	前年同期は △81百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	△34百万円	前年同期は △92百万円

経常利益に関しましては、海外事業会社に対する債権債務において、円安に移行したことによる為替差益32百万円を計上いたしました。また一方で、当第1四半期連結累計期間における店舗閉鎖の費用として、店舗閉鎖損失を特別損失に17百万円計上しております。

② 当第1四半期におけるセグメント別業績

[事業セグメント]	[売上高]		[セグメント利益]		[店舗・拠点数]	
	実績	前年同期比	実績	前年同期	実績	前年同期比
小売事業	11億93百万円	7.5% 増加	10百万円	△4百万円	160店舗	—
飲食事業	15億3百万円	32.5% 増加	△9百万円	△30百万円	275店舗	4店舗減少
流通事業	23億8百万円	5.9% 減少	△33百万円	△29百万円	84拠点	6拠点減少
(調整額)	△3億81百万円	—	△12百万円	△16百万円	—	—

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は50億22百万円と前連結会計年度末に比べ9億77百万円の減少となりました。主な要因としては、現金及び預金が5億97百万円減少したことによるものです。

負債合計は49億74百万円と前連結会計年度末に比べ8億95百万円の減少となりました。主な要因としては、買掛金等の減少により、流動負債が7億69百万円減少したことによるものです。

純資産合計は47百万円となり、前連結会計年度末に比べ81百万円の減少となりとなりました。これは、当第1四半期連結累計期間における業績の影響及び円安に伴い為替換算調整勘定が47百万円減少した影響によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の業績予想は、2025年2月14日開示の「2024年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」記載の連結業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1 四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,125,378	527,901
受取手形及び売掛金	1,426,258	1,228,303
商品及び製品	565,206	454,398
仕掛品	20,199	10,750
原材料及び貯蔵品	70,419	48,911
短期貸付金	124,134	124,401
その他	304,878	268,372
貸倒引当金	△144,037	△139,619
流動資産合計	3,492,437	2,523,418
固定資産		
有形固定資産	902,238	904,983
無形固定資産		
ソフトウェア	1,935	1,820
のれん	615,570	596,037
その他	5,303	5,759
無形固定資産合計	622,809	603,617
投資その他の資産		
投資有価証券	16,010	16,010
敷金及び保証金	813,733	815,796
破産債権等に準ずる債権	257,578	257,578
長期貸付金	93,600	92,096
繰延税金資産	1,607	1,607
その他	216,512	223,112
貸倒引当金	△416,864	△416,132
投資その他の資産合計	982,177	990,068
固定資産合計	2,507,225	2,498,670
繰延資産	641	641
資産合計	6,000,304	5,022,730

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1 四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,286,036	1,469,300
短期借入金	100	100
1年内返済予定の長期借入金	204,788	269,620
未払金	732,139	691,813
契約負債	39,009	29,026
未払法人税等	50,485	58,728
未払消費税等	100,562	176,134
賞与引当金	12,813	19,315
店舗閉鎖損失引当金	37,576	23,868
その他	525,041	481,486
流動負債合計	3,988,553	3,219,394
固定負債		
長期借入金	820,671	714,473
リース債務	81,400	69,207
資産除去債務	573,867	563,450
その他	406,200	408,285
固定負債合計	1,882,140	1,755,417
負債合計	5,870,693	4,974,812
純資産の部		
株主資本		
資本金	413,218	413,218
資本剰余金	861,522	861,522
利益剰余金	△1,132,791	△1,166,823
自己株式	△7,435	△7,435
株主資本合計	134,513	100,481
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	316	316
為替換算調整勘定	△29,529	△77,188
その他の包括利益累計額合計	△29,212	△76,872
新株予約権	699	699
非支配株主持分	23,610	23,609
純資産合計	129,610	47,918
負債純資産合計	6,000,304	5,022,730

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
売上高	4,210,252	4,624,179
売上原価	2,638,172	2,710,088
売上総利益	1,572,079	1,914,090
販売費及び一般管理費	1,653,165	1,958,531
営業損失(△)	△81,085	△44,440
営業外収益		
受取利息	2,538	1,806
為替差益	833	32,605
その他	6,235	6,091
営業外収益合計	9,607	40,503
営業外費用		
支払利息	3,677	6,097
その他	6,299	216
営業外費用合計	9,976	6,314
経常損失(△)	△81,455	△10,251
特別利益		
その他	1,248	—
特別利益合計	1,248	—
特別損失		
店舗閉鎖損失	—	17,291
その他	1,596	—
特別損失合計	1,596	17,291
税金等調整前四半期純損失(△)	△81,803	△27,543
法人税、住民税及び事業税	10,190	6,509
法人税等調整額	280	△19
法人税等合計	10,471	6,490
四半期純損失(△)	△92,274	△34,033
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△1
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△92,272	△34,032

(四半期連結包括利益計算書)
(第1 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1 四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1 四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
四半期純損失(△)	△92,274	△34,033
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,944	△47,658
その他有価証券評価差額金	△944	—
その他の包括利益合計	1,000	△47,658
四半期包括利益	△91,274	△81,692
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△91,272	△81,691
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	14,239千円	19,770千円
のれんの償却額	11,098千円	18,694千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自2024年1月1日 至2024年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	小売事業	飲食事業	流通事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,023,716	1,117,939	2,068,595	4,210,252	—	4,210,252
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	86,633	16,224	384,473	487,331	△487,331	—
計	1,110,350	1,134,163	2,453,069	4,697,583	△487,331	4,210,252
セグメント利益又は 損失(△)	△4,433	△30,678	△29,075	△64,187	△16,897	△81,085

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額16,897千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの資産に関する情報

セグメント資産及び負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象とはなっていないため記載していません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自2025年1月1日 至2025年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	小売事業	飲食事業	流通事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,128,172	1,503,138	1,984,238	4,615,549	8,629	4,624,179
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	65,731	—	324,307	390,038	△390,038	—
計	1,193,903	1,503,138	2,308,546	5,005,588	△381,409	4,624,179
セグメント利益又は 損失(△)	10,203	△9,018	△33,559	△32,373	△12,066	△44,440

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△12,066千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、各セグメント損益の実態をより適切に反映させるため、全社費用の配賦基準を変更しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の配賦基準に基づいて作成しております。

3. 報告セグメントの資産に関する情報

セグメント資産及び負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象とはなっていないため記載しておりません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。